

第5次釧路町総合計画（町民意見反映）

# 町民インタビュー

結果報告

第3回 → 釧路町協働のまちづくり活動団体

兼 意見交換会



## □開催データ

- 開催日時：平成22年12月22日（水）  
13：00～14：35（1時間35分）
- 開催場所：遠矢コミュニティセンター 2階会議室
- 出席者：釧路町協働のまちづくり活動団体16名
- 聞き手：まちづくり推進課長

## □開催目的

第5次総合計画の策定にあたり、より多くの町民の皆様からご意見をいただく「町民参加」の一環として開催するものです。

その第3回として釧路町協働のまちづくり活動団体として登録となっている団体の皆さんのから、ご意見をいただき策定に反映させるべく開催しました。

釧路町総合計画策定会議 事務局

## 協働のまちづくり活動団体の協議会の設立について



☺ 長年、地域づくりに取組んでいる町内会には、地区の連町がありその上に連合町内会があります。

協働のまちづくり活動団体もこれからは同様に、連携する必要があるのではないかと思います。

そして、町内会と地域で活動をしている団体が協力しながらまちづくりを進めることが、これからの時代に必要ではないかと思えます。(まちづくり推進課長)

☺ こういった集まりはこれまで何回かありましたが、地域と団体が協力することについて意見だけを出して終わってしまう形でいたと思います。

例えば協働の団体で「実行委員会」のようなものを立ち上げて、まとめていかなければいつまでたってもバラバラに意見を出して終わってしまう気がします。(環境団体)

☺ 現在、26団体が登録となっていますが、それぞれの活動はバラバラであるため、何か一つのことをやるのは難しい部分があると思います。

協働の団体は、会員数でいくと820人の町民が集まる形になります。

これだけの会員数がある団体が、例えば「釧路町まちづくり協議会」のような形でまとまることにより、町長へ意見が言いやすくなるのではないかと思います。

各団体でそれぞれ困ったことがあった場合、協議会でまとめて意見を出した方が効果的だと思います。(地域づくり団体A)

☺ 単位団体では、それぞれ活動の中で困ったことが多い部分があると思います。

団体同士のネットワークや協議会づくりには賛成します。(福祉団体A)

☺ 私達の会でも、こういった場には役員を中心にした対応になっており「協働のまちづくり」についても会員に中々行き届いていない現状にあります。

個別に登録団体同士では、何かあるときには連携し協働でやっていますが、それだけでなく、多くの団体との協力がこれからは必要であると感じています。(福祉団体B)

☺ 私達の会でも、会員は25名ですが何かやるときに参加できるメンバーは決まっています。

協働のまちづくり活動団体に登録したことで、地域で活動している団体がたくさんあることを始めて知りました。

協議会があれば、他の団体のお話を聞いたり、連携したりできるのでいいのではないかと思います。(福祉団体C)

☺ 私達の手をつなぐ会ほほえみは、結成し1年ちょっとが経ちましたが、実際に高齢者の見守り活動に取り組み始めたのは半年前位からになります。

一人暮らしの高齢者の声かけや見守りをするにあたり、会員からは町内会からの協力が得ら

れる地域と、中々協力が得られない地域との温度差があるということを聞いています。

そういった中で、協働の団体で協議会ができることで、横のつながりができて連携することができるのではないかと期待しています。(福祉団体D)

- ☺ まちづくりというのは継続していくことが一番難しいのではないかと思います。

団体のネットワークについては、団体みなさんのまちづくりへの熱い思いがあればついて行きたいと思います。

いずれにしても、町の若い人で何かをやっていくことができればと感じました。(産業振興団体)

- ☺ 私達の会では年会費もなく、活動費は年に数回行うバザーの収益で賄っています。

町からの補助は受けていませんが、町からバスをお借りしています。

自分達の会だけで何とかしようとしてもできない部分は、ボランティア連絡協議会のように、連携できればいいと思います。

また、26団体あるので、団体同士で活動を見学したりすることで自分達の活動のヒントになるのではないかと思います。(福祉団体E)



協働の団体の協議会については、例えば町内会であれば、単位町内会がありその上に地区の連町、そしてさらにその上に釧路町連合町内会という形になっています。

町内会の要望は連町でとりまとめられ、声を合わせた形で町に寄せられてきます。

その要望は、多くの町民の方のまとまった声として大きな意見になります。

協働の団体についても、みなさんの声を一つにまとめ、町に届けることが大事ではないかと思えます。

町長自身は、ボランティアに取組む方々への保険制度を考えていますが、皆さんから必要との声が集まらなければ前に進むことはできません。

ぜひ、協働の団体みなさんも連町のように、それぞれの団体の意見から、「みんなの意見」としてまとめて大きな意見として寄せていくためにも、協議会あるいはネットワークのような形でまとまる方がいいのではないかと思います。(まちづくり推進課長)

## 協働団体による協議会設立の必要性について

- ☺ 協働団体は現在26団体で820名の会員がいますが、26団体がどんな活動をし、どういったことが困っているかを発表する場があってもいいと思います。

ネットワークをつくるためにも、まず先にそれぞれの団体の困ったことを出すことが必要ではないかと思えます。(地域づくり団体A)

- ☺ 私達の団体は、立派な公園をつくるのが目的であるので、そのための要望などは直接、町に言いますし、いちいち協議会をつくってそこでまとめるということは必要なのだろうかと思ってしまう。(地域づくり団体B)

☺ 協議会を何のためにつくるのかという部分では、私の考えはまちづくり推進課長と違い、自分達の会のためであると考えています。

一団体としてできることはやれば良いと思いますが、一団体としてどうしてもできないことをするのが「協議会」だと思います。

例えば、「人材」については団体でも町内会でも必ず出てくる課題だと思います。

人材については、それぞれの団体・町内会での共通の課題であるため、協議会があればまとめて意見を、町にぶつけることもできるのではないかと思います。

協議会の運営については、手間はかかるかもしれませんが、事務局は自分達でやった方がいいと思います。

そうすることで、まちづくり推進課以外の課とも連携が効くのではないかと考えます。(地域づくり団体A)

☺ まちづくり推進審議会がよく出る言葉ですが、今の26団体は「点」だと思います。

その「点」をつなげて「線」にしていくことが必要だと思います。

協議会づくりは立ち上げるまでは問題があると思います。

現状としては、それぞれの団体で要望があり、1団体としての要望は通っていない現状にあります。

協議会づくりは、事務局や代表の問題等、いろいろあると思いますが、あせることなくじっくりと進めていくべきだと思います。(福祉団体D)

☺ 今まで、何回か意見交換会をしていますが、いずれも意見を出して終わりというイメージだったと思います。

協議会づくりについては、各団体が連携できるという部分で賛成です。

たくさんの団体の声をまとめることは大変だと思いますし、最初からうまくいかないと思いますので時間をかけて改善し、事務局に負担をかけない形でやるべきだと思います。(環境団体)



協働の団体の協議会づくりについては、町としては必要性を十分理解していますが、役場がつくるものではないと思っています。

団体の課題意見交換会というものがあれば、26団体の中で整理していくものと思います。

それぞれの団体は、それぞれの目的をもって活動されていると思います。

しかし、その目的の上には「地域づくり」や「まちづくり」が、団体の活動の上にあるのではないかと思います。

公園づくりを目的に活動されていても、その活動は団体のためだけでなく、良い地域、良いまちをつくるための活動として、最終的に活動された皆さんに還ってくると思います。

みなさんの中でできることを一つひとつ行っていくことが、地域づくり・まちづくりにつながっているのではないかと思います。(まちづくり推進課長)

## 協議会設立までの準備について

- ☺ 最初の一步として、26団体をまとめる代表をどなたかにお願いし、次の懇談までの窓口としてお願いしたいと思います。(まちづくり推進課長)
- ☺ 町内会と連町は共通のことを行っていますが、26団体は全部共通しているわけではないと思います。
- 私達の会は、他の団体とは全然、別個な活動をしているので共通のことはできないと思います。(地域づくり団体B)
- ☺ 私は、協議会をつくった方がいいと思っています。
- つくるか、つくらないかという部分は皆さんの意見をいただく必要はありますが、つくるという方向で、協議会の「役割」を考えていきたいと思っています。(地域づくり団体A)



現在、地域を支えてきた町内会が会員数の減少といった問題で、段々地域を支えていくことが難しくなってしまう心配があります。

これからは、地域で活動している団体と町内会が一緒になって地域を支えていくことも必要なのではないのでしょうか。

限られた団体との交流でしかメリットがないということではなく、地域の様々な課題をいかに支えていくかは、例えば協働の団体のネットワークの中で考えていくことも必要なのではないかと思います。

ネットワークづくりについては決定ではなく、今後、進めるうえでの形としておさえていただきたいと思っています。(まちづくり推進課長)

## 町民バスの利用について

- ☺ 私達の会「みんくる」は設立し6年目になりますが、設立当初から環境問題への先進地への視察をしたいと考えてきました。
- そのために町民バスをお借りしたいと思っていますが、町から助成金をもらっていないため借りることができません。
- この話は、何年も前から色々な場で、町長にも要望していますが、いまだに利用できない状況にあります。(環境団体)

町民バス、福祉バスのあり方についての問題提起について、行革の中でしていますが、現在は、これまでのルールが続いている状況にあると思います。

あらためて声があったことを担当課には伝えたいと思います。

ぜひ、皆さんからの提案については「わたしのまちの未来提案」で寄せていただければと思います。(まちづくり推進課長)

## 一人暮らしの高齢者の見守りと個人情報について

- ☺ 私達の会では、一人暮らしの高齢者の見守り活動を行っていますが、中々情報が得られないことが問題になっています。
- 町内会を通して情報をいただく機会が多いですが、個人情報保護の関係もあって情報をいただけない町内会もあります。
- 個人情報保護については、町の方でも必要な情報は開示できるよう考えていただければと思います。
- その他、発足したての団体であるため、やっぱりお金がないということが問題としてはございます。(福祉団体D)
- ☺ 個人情報の関係で、先日、鉧路市で説明会と講演会があり参加しました。
- その中で、行政の個人情報は5, 000人以下の情報であれば管理さえしっかりしていれば公開しても問題ないという見解がでていました。
- 個人情報だからといって出せないというだけでなく、こういった情報も必要なのではないかと思います。(福祉団体D)

一人暮らしの高齢者の情報については、悪徳業者に悪用されてしまう可能性もあることから、逆に個人情報保護で守られているという部分もあります。

この問題は、町内会にも関係しますが、東京の中野区ではひとり暮らしの高齢者を守るため、必要な場合は情報を町内会にお知らせすることができるよう独自に条例を整備することを進めています。

そのため区長が、町内会を1件1件を訪問し、理解を得ようとしている段階のようです。

困っている部分があれば、逆に団体皆さんから「こんな取組みをしているところがある」と提案していただくことも必要ではないかと思えます。

見解については、法的には問題がなくても、実際に被害がでた場合に問題となってくると思えます。

慎重な対応が必要な問題だと思います。(まちづくり推進課長)

## 会館の使用料について

- ☺ 会館の使用料については1時間単位であるが30分単位にならないでしょうか？
- 以前に会館を借りて10分位時間を超過しそうになったため、連絡したところ1時間延長するよう言われました。
- 30分単位であれば、準備と片付けを含めた時間で借りることが出来ると思えます。(環境団体)

会館の使用料については、すぐに解決できない問題もあります。

今後、使用料の見直しを検証する機会があると思えますので、その際にもご意見をいただきたいと思えます。(まちづくり推進課長)

## 先進的な取組みを学習する機会について

- ☺ 個人的な意見ですが、地域で活動するにあたり常に刺激がほしいと思っています。  
全国的に地域づくりで活動している人の話を、年に1回でも聞くことができれば自分の活動におおいに刺激になります。  
そういった話を聞くことができる機会を町で設けていただければと思います。(地域づくり団体A)

## 町民インタビューむすび

本日は、現在登録となっている26団体での協議会づくりについて意見交換と町民インタビューということで、皆様の声を伺いました。

本日いただいたご意見は、今後の計画づくりに活かして参りたいと考えています。

本日の意見交換会、町民インタビューが、団体皆さんが協働で取組むことができるきっかけになればと思います。

協議会づくりについては、「あまり無理をしない」「あせってはいけない」ということで共通していると思います。

まずは入口の話であるので、まとめ役となられた佐々木さんには、今後、どうぞよろしくお願いたします。(まちづくり推進課長)